

# HIRATSUKA KYOUKAIHOU

No.275

平塚協会報

発行所：公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 平塚支部  
発行責任者：森泉 武人

## 令和5年度 第74回全国労働衛生週間を迎えて

平塚労働基準監督署長 柴田 英彦



日頃より神奈川労務安全衛生協会平塚支部会員の皆様には、労働者の健康確保に格別の御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

ここ数年、新型コロナウイルスの感染拡大により十分な医療が受けられない状況を経験して、健康の重要性を改めて痛感したものです。

さて、全国労働衛生週間は、労働者の健康管理や職場環境の改善など労働衛生に関する国民の意識を高めるため、職場での自主的な活動を促して労働者の健康を確保することなどを目的に、昭和25年から毎年実施され、今年で74回目になります。毎年9月1日から30日までを準備期間、10月1日から7日までを本週間とし、この間、各職場で職場巡視やスローガンの掲示、労働衛生に関する講習会・見学会の開催など様々な取り組みを行うものです。

今年のスローガンは「目指そうよ二刀流 ここるところからの健康職場」となりました。二刀流と聞いて、私はメジャーリーグで活躍している大谷選手が思い浮かびました。大谷選手は常に最高のパフォーマンスを引き出せるよう、目先の楽しさより睡眠時間を確保し体調管理を重視しているそうです。

労働者の健康をめぐる状況は、社会構造の変化に伴い高齢化や女性の就業の機会が増加し、有所見率の上昇、疾病を抱えながら働く労働者の増加、転倒や腰痛など作業行動に起因する労働災害が高い発生率となっており、人生100年時代に向けて高年齢労働者が安心安全に働ける職場環境づくりをエイジフレンドリーガイドラインに基づく推進とともに、労働者の健康管理や治療と仕事の両立への支援をさら

に進めていく必要があります。

労働者の健康確保では、小規模事業場での対策の推進が重要になる中、過労死等事案の労災認定件数は4年度、全国で904件となり、働き方改革と相まった長時間労働による健康障害防止対策の推進が必要です。このうち精神障害による認定件数は710件と過去最多であり、メンタルヘルス対策のさらなる強化が必要です。

この他、化学物質管理の重要性が増す中、化学物質による休業4日以上労働災害は全国で450件程度で推移し、特別規制の対象外の物質によるものが全体の8割を占め、重大な遅発性の職業性疾病も後を絶たないため、化学物質管理者の選任や作業環境測定による作業環境の評価など新たな取組みが重要です。さらに石綿関連疾患による労災認定件数は全国で年間約1000人に及び、さらなる対策の強化のため、一定要件下の解体・改修工事について、資格者による事前調査やシステムによる調査結果報告を義務化するなど石綿ばく露防止対策を進めています。

このような状況を踏まえ、今年度から始まった第14次労働災害防止計画の労働衛生の分野では、「自発的に労働衛生対策に取り組むための意識啓発」や「労働者の作業行動に起因する労働災害防止対策の推進」、「健康確保対策の推進」、「化学物質等による健康障害防止対策の推進」など合わせて4つの重点を定め、その対策を進めています。

今年度のスローガンを意識して、各事業場では全国労働衛生週間を展開し、職場における労働衛生意識の高揚を図るとともに、自主的な労働衛生管理活動の一層の促進をお願い申し上げます。

令和5年度 全国労働衛生週間スローガン

**目指そうよ二刀流** **ここるところからの健康職場**

# 全国労働衛生週間 平塚地区促進大会

「目指そうよ二刀流 ころとからだの健康職場」のスローガンのもとに、去る9月8日(金)平塚市中央公民館大ホールにおいて、「第74回全国労働衛生週間 平塚地区促進大会」が開催されました。大会は、平塚労働基準監督署の柴田署長よりご挨拶を頂き、平塚市落合市長の祝辞代読へと続き、平塚保健福祉事務所 深谷企画調整課長より来賓挨拶、平塚労働基準監督署 杵野安全衛生課長より「全国労働衛生週間」の趣旨説明を頂きました。

その後、第二部として労働災害防止3団体共催の「第67回平塚地区安全衛生大会」が開催され、事業場ならびに地区の安全衛生活動の推進に尽力された方々に対して、各団体長より「安全衛生推進優良者」の表彰が行われました。

今年は神奈川労務安全衛生協会平塚支部として、17名の方が受賞されました。おめでとうございます。引き続き、神奈川労務安全衛生協会平塚支部 村山支部長より「大会宣言」が行われ、参加者全員で確認致しました。休憩をは

さみ、特別講演として元NHK ためしてガッテン演出担当デスク 北折様より『これでモテモテ!? あと5kg簡単にやせとく裏ワザ』と題して、ご講演いただきました。最後に、建設業労働災害防止協会 神奈川支部平塚分会 佐藤分会長の閉会挨拶により、本大会を終了致しました。

日産車体エンジニアリング(株) 椿本 記



## 令和5年度 安全衛生推進優良者団体長表彰名簿

公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 平塚支部 支部長表彰 (敬称略)

No.	事業場名	被表彰者名
1	日産車体 株式会社	金澤 一之
2	日産車体 株式会社	井上 渡
3	日産車体 株式会社	板倉 功
4	横浜ゴム 株式会社 平塚製造所	相原 慎二
5	高周波熱錬 株式会社	荘司 秀樹
6	日産車体マニファクチュアリング 株式会社	小合瀬 利秋
7	関西ペイント 株式会社 平塚事業所	米山 健一
8	富士フィルムワコーケミカル 株式会社 平塚工場	小山 大友
9	株式会社 KELK	廣庭 努
10	株式会社 小松製作所 湘南工場	中森 恵
11	株式会社 小松製作所 湘南工場	上野 めぐみ
12	株式会社 パイロットコーポレーション 平塚工場	遠藤 富士男
13	株式会社 KMCT 秦野工場	鈴木 清
14	株式会社 KMCT 秦野工場	神部 一洋
15	JFE溶接鋼管 株式会社	山本 満
16	富士電線 株式会社	小澤 郁夫
17	スタンレー電気 株式会社 秦野製作所	松藤 洋一



## 「新型コロナ行動制限解除後のコミュニケーション」

三菱ケミカル(株) 平塚工場環境安全・品質保証部 北山 和彦

今年5月8日以降、新型コロナの感染症の位置づけが5類に移行し、今まで実施してきた入院勧告や外出自粛要請といった行動制限など、様々な対策は解除されました。移行後は、行動制限を求めることができなくなり、感染症対策は個人の判断に委ねられています。ただ、新型コロナ感染症自体がなくなったわけではなく、周囲ではまだまだ安心できる状況までは進んでいないように思えます。引き続き自衛の感染予防対策は必要と感じています。

8月時点では、第8波の1医療機関当たり平均患者数30人に対し、お盆休み以降で18人程度となっています。検査を受ける人自体も減っている可能性もあり、まだ油断はできないのですが、今月下旬にはピークアウトするとの見込みも出ています。今年は、台風の影響で、旅行や帰省の動き

が限定的になったため、早めの減少に移行すれば有難いと思っています。

一方、行動制限解除後は、国内での生活や経済活動の活発な兆しも徐々に見えてきており、少し遠ざかっていたコミュニケーションも取り戻す重要なタイミングになってきたと思います。

弊社においては、WEBを利用したりモート会議から、対面講習やグループ討議も徐々に広げていき、なかなか活発に意見交換が発せられない状況から、部署間での課題や情報、困りごとについての意見交換、熱中症予防の取組み対策、4R-KY等の安全研修を5名/グループで討議、対面でのコミュニケーション作りを行いました。好評でした。

ご安全に!

以上

# 平塚労働基準監督署からのお知らせ

## 1 騒音障害防止のガイドラインが改定されました

(令和5年4月20日付け基発0402第2号「騒音障害防止のためのガイドラインの改定について」)

### ガイドライン改訂の主なポイント

★騒音障害防止対策の管理者の選任を追加

管理者を選任して、組織的にガイドラインに基づく対策を実施しましょう。

選任できる者は、衛生管理者、安全衛生推進者ほか、ライン管理者、職長等が含まれます。

★騒音レベルの新しい測定方法の追加

個人ばく露測定による等価騒音レベルの測定(屋内にて騒音源が移動する場合等)等価騒音レベルの推計(屋外にて地面上に騒音源があり、周辺に壁等がない場所)



(↑詳しくはこちらから)

★聴覚保護具の選定基準の明示

日本産業規格(JIS) T8161-1 に規定する試験方法により測定された遮音値を目安に必要なかつ十分な遮音値の保護具を選定しましょう。

★騒音健康診断の検査項目の見直し

定期健康診断(騒音)における4000ヘルツの聴力検査の音圧が、40デシベルから25デシベルおよび30デシベルへと変更されました。雇入れ時または配置替え時や、定期健康診断(騒音)の二次検査で聴力検査に6000ヘルツの検査が追加されました。

## 2 神奈川県最低賃金 改正のお知らせ

- 令和5年10月1日から、神奈川県最低賃金は

**時間額 1,112円(41円引き上げ)** になります。

## 3 管内の事業場が神奈川局長表彰を受賞しました

- 優良賞(安全確保) EEJA株式会社 平塚事業所
- 奨励賞(健康保持増進) キヤノン株式会社 平塚事業所

### ■労働災害発生状況 (労働者死傷病報告件数)

(令和5年7月末日時点)

		製造業	食料品 製造業 (製造業の内数)	建設業	道路貨物運送・ 陸上貨物取扱	小売業	社会福祉 施設	飲食店	その他	計
平 塚 労働基準 監督 署	令和5年1月~7月	41	16	38	29	24	35	11	111	289
	うち死亡災害	0	0	0	1	0	0	0	1	2
	令和4年1月~7月	56	16	18	29	36	102	14	86	341
神 奈 川 労働 局	うち死亡災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	令和3年1月~7月	46	7	31	39	39	28	13	80	276
	うち死亡災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神 奈 川 労働 局	令和5年1月~7月	500	164	368	530	491	903	190	1,768	4,750
	うち死亡災害	2	0	7	3	0	1	0	6	19
	令和4年1月~7月	530	150	394	607	527	1,576	190	2,095	5,919
神 奈 川 労働 局	うち死亡災害	0	0	3	2	1	1	0	7	14
	令和3年1月~7月	483	159	355	579	512	568	183	1,331	4,011
神 奈 川 労働 局	うち死亡災害	3	0	9	1	1	1	0	1	16





# 雑感

## コロナ禍が明けて思うこと

株式会社トープラ 総務部 橋本 紳司

新型コロナウイルス感染症の位置づけが、今年5月から5類へ移行し、行動制限も解除され、コロナ以前の様な日常に戻りつつあります。通勤時の電車やバスの中、また社内でもマスクを外す方が増えてきました。

当社でも先日、4年ぶりの開催となる「納涼祭」を開催しました。当初は、3年余り続いた行動制限で従業員同士の関係も希薄化しているようで、参加してくれるかどうか不安でしたが、コロナ前の2019年開催時とほぼ同じ規模で開催でき、一安心しました。また当日は、小さなお子さんを連れた従業員の参加も多く、恒例の大抽選会では会場全体が大盛り上がりで、短い時間でしたが、満足のいく時間であったと思います。久々に開催した納涼祭を通じて、改めて従業員同士の繋がりの大切さを実感した日となりました。私自身は、人事・総務の仕事に就いて18年が経ちますが、昨今の働き方改革、DX推進、カーボンニュートラル推進、災害対応等、18年前では想像もできなかった事への対応が求められておりますが、急激な変化に対して十分な対応が取れていないというのが現実です。

そうした中で、昨年の育児介護休業法の改正に伴い、配偶者が出産した男性従業員へ「育児休業取得促進のための

パンフレット」を作成し、制度の説明やパンフレットの配布を行ったところ、今年度は、配偶者が出産した男性従業員の半数から育児休業の申請がありました。コロナ禍で、行動制限を受け、家族と一緒の時間が長くなったことで、家族を大切にされる方が増えたこともあるかと思いますが、これまでは、男性の育児休業は数年に1名程度だったことを考えると、大躍進しました。

また、今回育児休業を取得した男性従業員からは、「産後の大変な時期に休みが取れたので妻に感謝された。」とか「育児休業を取得し、家事や子育てを手伝う事で、妻の大変さが良く分かった」などの意見がありました。子育てはほとんど妻に任せきりであった自分には非常に耳の痛い話でしたが、仕事と家庭の調和の大切さを考えさせられました。このように夫婦で共働きの世帯が大幅に増加した現在では、「ワークライフバランスのとれた職場環境づくり」も大切だと感じました。

今回の納涼祭の開催や男性従業員の育児休業の取得率の大幅な向上を見ると、コロナ禍が明けて、コロナ前に戻るころは戻り出し、変わるところは変わったと実感する今日この頃です。

## 『マスクフィットテスト実施者養成研修』

令和5年8月1日(火)に平塚市勤労会館2階の会議室で『マスクフィットテスト実施者養成研修』が開催されました。

この研修は、特定化学物質障害予防規則の改訂(施行日：令和5年4月1日)により、金属アーク溶接等作業を継続して行う屋内作業場については、溶接作業者に対して、年1回、呼吸用保護具(マスク)のフィットテストを実施することが義務付けられたことによる新しい養成講座となります。

午前中は学科(座学)で、昼食をはさんで午後からは実技となりました。実技は班に分かれて、定量フィットテストと定性フィットテストを行いました。

定性フィットテストにおいては、甘味成分等の味覚の有無で密着性を体験してもらいました。本研修は、協会では本部と平塚支部のみの開催となります。

平塚支部次回開催は令和6年2月を予定しております。尚、

中小企業の方は、定性フィットテスト測定キット購入に際して補助金の対象となります。

富士フィルムワークケミカル(株) 矢作 記



## 編集後記

### 熱中症になってみて

お盆休みも過ぎ、例年であれば夜の空気が変わる時期ですが、まだまだ暑い日が続いています。

皆さん体調は大丈夫ですか。私はこの夏に初めて熱中症になりました。

梅雨明けと共に猛暑となり、気分転換のためバイク仲間と奥多摩湖へツーリングしたときのこと、この日は朝から食欲が無く水分のみ摂って、炎天下の一般道を3時間走り奥多摩湖湖畔の食堂へ到着。その後、午後の強い日差しを

背に受けて富士吉田市へ到着したとき、頭痛、吐き気、めまい、体のダルさにより立ってられなくなりました。

コンビニにお願いして店内で椅子に座り水分補給しながら休憩したところ、幸い、意識ははっきりして回復傾向が見られたため、その場で約1時間休憩して持ち直しました。今思うと、バイクで風を切って走れば大丈夫と思いましたが、体内に熱がこもり、塩分と暑熱順化不足によって体調を崩したようです。

今はすでに猛暑を越した感がありますが、来年以降、地球温暖化から沸騰化といわれる昨今、日常の生活環境等から何か変えられないか考える日々が続いています。

(株)NITTAN 前野 記